

地域医療支援病院業務報告書

令和7年9月19日

愛知県知事殿

開設者 住 所 豊橋市今橋町1番地
氏 名 豊橋市長 長坂 尚登

下記のとおり、令和6年度の業務に関して報告します。

記

1 病院の名称等

名 称	豊橋市民病院					
所 在 地	豊橋市青竹町字八間西50番地					
診 療 科 名	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、アレルギー科、感染症内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、血液・腫瘍内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、肛門外科、移植外科、整形外科、リウマチ科、形成外科、脳神経外科、小児科、小児科（新生児）、産婦人科、産婦人科（生殖医療）、女性内視鏡外科、耳鼻いんこう科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、精神科、麻酔科、救急科、リハビリテーション科、病理診断科、歯科口腔外科					
病 床 数	精 神	感 染 症	結 核	療 養	一 般	合 計
		10	10		780	800

2 施設の構造設備

施 設 名	設 備 概 要					
集 中 治 療 室	（主な設備）生体情報監視装置、救急蘇生装置、呼吸循環監視装置、緊急蘇生器具一式、小外科セット、人工呼吸器、除細動器、血液ガス・電解質分析装置、簡易血糖測定器、ペースメーカー、心電計、輸液ポンプ・シリンジポンプ、ポータブルレントゲン撮影装置 病床数 6床					
化 学 検 査 室	（主な設備）尿自動分析装置、尿中有形成分分析装置、便潜血測定装置、多項目自動血液分析装置、血液凝固測定装置、全自動血液ガス測定装置、生化学自動分析装置 免疫自動分析装置、顕微鏡					
細 菌 検 査 室	（主な設備）自動血液培養検査装置、全自動同定感受性検査装置、PCR自動測定システム、顕微鏡、孵卵器、質量分析装置					
病 理 検 査 室	（主な設備）凍結切片作成装置、自動免疫染色装置、自動染色装置、脱水・脱脂・パラフィン浸透装置、写真撮影装置、大型フリーザー、ミクロトーム、自動遺伝子解析					
病 理 解 剖 室	（主な設備）解剖台					
研 究 室	（主な設備）電子カルテシステム端末機					
講 義 室	室数	1室	収容定員	約150人		
図 書 室	室数	1室	蔵書数	9,000冊程度		
救急用又は患者搬送用自動車	（主な設備）ドクターカー（患者搬送用）					保有台数 1台
医薬品情報管理室	〔専用室の場合〕 床面積 43.73㎡					

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
2 規則第9条の2第1項各号に掲げる事項を記載した書類を添付すること。

紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

1 算定期間 令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 3 1 日

2 紹介率 8 4 . 0 %

紹 介 患 者 の 数 (A)	初 診 患 者 の 数 (B)	紹 介 率 ($A/B \times 100$)
2 0 , 6 2 0 人	2 4 , 5 4 7 人	8 4 . 0 %

3 逆紹介率 8 6 . 1 %

逆 紹 介 患 者 の 数 (C)	初 診 患 者 の 数 (B)	逆 紹 介 率 ($C/B \times 100$)
2 1 , 1 4 8 人	2 4 , 5 4 7 人	8 6 . 1 %

※ 1 各人数については、前年度の延べ人数を記入すること。

※ 2 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第 1 位まで記入すること。

※ 3 紹介率が 80 % 以上であることを承認の要件とする場合で、紹介率が 65 % 以上 80 % 未満の病院にあつては、今後、2 年間で紹介率を 80 % 以上とするための具体的な年次計画を明らかにする書類を添付すること。

【別添 1－1】

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

共同利用の実績
(地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用)

1 共同利用の実績

※ 1 前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数、これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数、共同利用に係る病床の病床利用率等を記入すること。

- ・前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数… 1, 310 件
- ・これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数… 1, 310 件
- ・共同利用に係る病床の病床利用率（開放型病床利用率）… 15.6 %

【別添 2－1（共同利用実績）】【別添 2－2（利用率）】

2 共同利用の範囲等

※ 2 病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象としたものを記入すること。

- ・共同利用対象施設…講堂、会議室、研究室、医学情報室（図書室）、開放型病床 5 床
- ・共同利用対象医療機器等…コンピュータ断層撮影装置（CT）、磁気共鳴断層撮影装置（MRI）ガンマカメラ装置（RI）、陽電子放出断層撮影装置（PET-CT）、胃内視鏡検査装置（胃カメラ）、脳波検査装置、骨密度測定装置、超音波断層装置（頸動脈エコー）

共同利用に関する規程	(有) ・ 無	
利用医師等登録制度の担当者	氏 名	
	職 種	医師

※ 3 共同利用に関する規程がある場合には、当該規程の写しを添付すること。

【別添 2－3（共同利用要綱）】

4 登録医療機関の名簿

医 療 機 関 名	開設者名	住 所	主たる診療科	申請者との経営上の関係
【別添 2－4】				

※ 4 申請に係る病院と同一の 2 次医療圏に所在する医療機関についてのみ記入すること。

5 常時共同利用可能な病床数 5 床

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

救急医療提供の実績

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤 務 時 間	備 考
			〔常勤 非常勤〕	〔専従 非専従〕	

【別添 3-1】

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	名称（ 集中治療室 ） 6床
専用病床	名称（ 救急入院センター ） 24床

※ 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記入すること。

3 重症救急患者に必要な検査又は治療を行うために必要な診療施設の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要	24時間使用の可否
救急外来センター	1,169.18㎡	（主な設備）患者集中監視装置、ベッドサイドモニタ、除細動器、血液ガス分析装置、電気手術器、12誘導心電計、分娩監視装置、人工呼吸器	可
救急入院センター	1,451.72㎡	（主な設備）人工呼吸器、患者監視装置、重症患者集中管理モニター、MR I 対応呼吸器	可

4 救急医療の提供の実績

救急用又は患者搬送用の自動車により搬入した救急患者の延べ数	7,140人（ 4,161人）
上記以外の救急患者の延べ数	18,126人（ 3,591人）
合計	25,266人（ 7,752人）

（ ）内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

5 保有する救急用又は患者搬送用の自動車の出動回数

82回

6 備考

救急病院の認定告示 令和5年7月4日（認定期間 令和5年7月1日～令和8年6月30日） 救急救命センターの指定年月日 昭和56年4月8日

【別添 3-2】

※特定の診療科において、重症救急患者の受入れ体制を確保する場合は、その旨を記入すること。

既に、「救急病院等を定める省令」（昭和39年厚生省令第8号）に基づき知事の救急病院の認定を受けている病院及び「救急医療対策の整備事業について」（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容

【別添 4－1】

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	33回
(2) (1) の合計研修者数	1,153人

※ 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無 ☒ 有・無

(2) 研修委員会の有無 ☒ 有・無

(3) 研修指導者

氏 名	職 種	診 療 科	役 職 等	臨 床 経 験 年 数	備 考
				年	

※ 研修責任者については、備考欄にその旨を記入すること。

【別添 4－2 (研修指導者)】 【別添 4－3 (研修委員会設置要綱)】

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
講 堂	360.6㎡	(主な設備) 放送設備、スクリーン、プロジェクタ、机、椅子
第2会議室	107.8㎡	(主な設備) 放送設備、スクリーン、プロジェクタ、机、椅子
第6会議室	109.4㎡	(主な設備) 放送設備、スクリーン、プロジェクタ、机、椅子
研修室1～3	154.58㎡	(主な設備) 放送設備、スクリーン、プロジェクタ 医療用シミュレーター

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

1 管理責任者等

	氏 名	職 種	役 職 等
管 理 責 任 者 の 氏名、職種、役職等		医師	院長
管 理 担 当 者 の 氏名、職種、役職等		事務職	事務局長

2 諸記録の保管場所及び分類方法

		保 管 場 所	分 類 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		電子カルテ内	日ごと 1患者1ID
	共同利用の実績	患者総合支援センター	
	救急医療の提供の実績	医事課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	医事課 患者総合支援センター	
	閲覧の実績		
病院の管理及び運営に関する諸記録	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	医事課	

※ 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法
及び閲覧の実績

閲覧責任者	氏名		職種	役職等	
			医師	副院長	
閲覧担当者	氏名		職種	役職等	
			社会福祉士	患者総合支援センター医事課主幹	
閲覧場所	・患者総合支援センター ・医事課				
総閲覧件数	医師	歯科医師	地方公共団体	その他	合計
				91件	91件
閲覧手続の概要	<p>○<u>電子カルテ・診療日誌等閲覧</u></p> <p>閲覧場所：患者総合支援センター</p> <p>閲覧時間：平日10：00～17：00</p> <p>閲覧申請：患者総合支援センターへ事前連絡する。</p> <p>閲覧手順</p> <p>1 患者総合支援センターで来院受付を行う。</p> <p>2 登録証及び電子カルテ端末用のIDカードの貸与を受ける。</p> <p>3 研究室（患者総合支援センター内）にて、指定電子カルテ端末にて閲覧する。</p> <p>○<u>診療記録（カルテ等）に係る保有個人情報開示</u></p> <p>開示場所：医事課</p> <p>開示請求：「保有個人情報開示請求書」による</p> <p>開示手順</p> <p>1 本人又は代理人による開示請求</p> <p>2 開示、非開示の決定</p> <p>3 日時を指定の上、医事課にて開示（必要に応じて写しの交付（有料）</p>				

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

1 委員会の開催回数 4回

2 委員会における議事の概要

※委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

【別添7-1（委員会議事録） 別添7-2（委員名簿） 別添7-3（設置要綱）】

《令和6年度第1回豊橋市民病院地域医療支援委員会》

【開催日時】 令和6年5月23日（木） 午後2時～午後3時

【場所】 第2会議室 ハイブリッド会議

【出欠】 26名出席（内オンライン参加9名） 欠席3名

【議題1】 前回議事録（案）について

【議題2】 地域医療支援病院の取り組みについて

【議題3】 豊橋市民病院からの情報提供

「豊橋市民病院の電子処方箋対応開始について」

《令和6年度第2回豊橋市民病院地域医療支援委員会》

【開催日時】 令和6年8月22日（木） 午後2時～午後3時

【場所】 講堂 ハイブリッド会議

【出欠】 27名出席（内オンライン参加11名） 欠席2名

【議題1】 前回議事録（案）について

【議題2】 地域医療支援病院の取り組みについて

【議題3】 豊橋市民病院からの情報提供

「当院におけるがん患者に対するリハビリテーションについて」

《令和6年度第3回豊橋市民病院地域医療支援委員会》

【開催日時】 令和6年11月28日（木） 午後2時～午後3時

【場所】 第2会議室 ハイブリッド会議

【出欠】 23名出席（内オンライン参加10名） 欠席6名

【議題1】 前回議事録（案）について

【議題2】 地域医療支援病院の取り組みについて

【議題3】 豊橋市民病院からの情報提供

「豊橋市民病院の電子処方箋の対応について」

医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

《令和6年度第4回豊橋市民病院地域医療支援委員会》

【開催日時】 令和7年3月6日（木）午後2時～午後3時

【場所】 第2会議室 ハイブリッド会議

【出欠】 24名出席（内オンライン参加10名） 欠席5名

【議題1】 前回議事録（案）について

【議題2】 地域医療支援病院の取り組みについて

【議題3】 豊橋市民病院からの情報提供

「当院で身寄りがない患者さんが抱える課題の現状と

今後の支援の在り方について」

【議題4】 次年度委員の選出

【議題5】 委員会日程（案）

患者相談を行った場所	・患者総合支援センター ・医事課		
患者相談担当者	氏名	職種	役職等
		社会福祉士	主幹
		看護師	看護科長
		社会福祉士	主査
		社会福祉士	主査
		看護師	主任
		社会福祉士	主任
		社会福祉士	主事
		社会福祉士	主事
		社会福祉士	主事
		社会福祉士	主事
		社会福祉士	主事
		社会福祉士	主任
		社会福祉士	主事
		事務	主査（分納担当）
		事務	主事（分納担当）
患者相談件数	医療福祉相談 45,591件		

- 入退院支援…12,796件
- 医療福祉相談…9,875件
- 女性相談…21件
- 医療安全…27件
- がん相談…2,500件
- 入退院支援加算対象 入院後面談…6,110件
カンファレンス…8,051件
- 分納相談 入院…2,800件
退院…3,411件

【別添 8-1】

居宅等における医療の提供の推進に関する支援の状況

居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

(退院患者への支援)

- ・入院中の患者が、他院への転院又は在宅へ移行する際に、安心して転退院できるよう、当院医師看護師、在宅医、介護支援専門員、訪問看護ステーション、医療ソーシャルワーカーなどが、合同で退院前カンファレンスを実施。
- ・訪問診療医、居宅介護支援事業所（ケアマネージャー）、訪問看護ステーション等との連絡調整
- ・5大がん地域連携パス、脳卒中地域連携パス、大腿骨頸部骨折地域連携パス
緩和ケア地域連携パスの運用

医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

(患者への情報提供)

- ・病院だより「青竹」を年4回発行し、当院の最新情報等を広く周知。
- ・院内にある患者総合支援センターの医療情報コーナーで、インターネットの検索、冊子、パンフレット等の閲覧が可能。

(医療関係者)

- ・ホームページに地域連携（登録医療機関、地域連携パス）に関する情報を掲載。
- ・研修会や講習会等での、地域の医療従事者に対する教育・研修の実施
- ・がん診療フォーラム、緩和ケア研修会等での、在宅を担う地域の医療機関への情報提供
- ・地域連携登録医向け広報誌「Bridge ～市民病院と地域をつなぐ～」の発行

その他居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援の実績

コロナ禍で地域のケアマネージャー等関係機関の来院が困難となったが、オンラインを積極的に活用して、退院前カンファレンスや事例検討会を実施した。また、退院前後訪問などを通じて院内の多職種連携だけでなく、地域の医療、福祉、行政などの関係機関との連携を工夫し、それぞれの専門性を活かしながら、患者の意向に沿った療養環境の整備に努めた。

その他地域医療支援病院に求められる取組みの状況

1 連携体制を確保するための専用の室、担当者

専 用 の 室 の 名 称	患者総合支援センター		
	入退院支援センター		
担 当 者	氏名	職種	役職等
		医師	副院長
		看護師	看護科長

2 病院の機能に関する第三者による評価

評 価 を 行 っ た 機 関 名	公益財団法人 日本医療機能評価機構
評 価 を 受 け た 時 期	認定証交付日：2023年1月4日 認定期間 2022年12月8日～2027年12月7日

※ 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。【別添10-1（認定証写し）】

3 退院調整部門の取組

退院調整部門の実績

患者総合支援センター内の「医療相談部門」に医療ソーシャルワーカー、入退院支援センター内に退院調整看護師を配置して、当院での入院加療を終えた患者に対し、転院先の医療機関調整や介護福祉施設、在宅介護サービスへのスムーズな移行など、安心して療養できるように環境整備を図った。

4 地域連携を促進するための取組みの実績

策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容

- ・5大がん地域連携クリティカルパス（胃癌、大腸癌、乳癌、肺癌、肝癌）
- ・大腿骨頸部骨折地域連携パス
- ・脳卒中地域連携パス
- ・緩和ケア地域連携パス

地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み

- ・HPでの周知
- ・地域連携パス意見交換会

5 病院が果たしている役割に関する情報発信の実績

情報発信の方法

- ・病院広報誌「青竹」発行 ・HPに掲載 ・出前講座の開催 ・地域医療機関訪問
- ・地域連携登録医へ広報誌「Bridge」発行 ・チラシ発行

内容等の概要

- ・地域住民や医療機関へ、急性期病院の役割や当院の診療科の特徴などを案内した。地域医療機関へは専門性の高い最新の治療法などを紹介した。